

アクアバランサー基本使用方法

減農薬栽培のお役に立ちます

作物名

露地・施設栽培果実

みかん、梨、ブドウ、りんご、キウイフルーツ、ブルーベリーなど

使用例 < 10 a (1 反)あたり >

時期	使用量	希釈率	使用方法(例)
土作り時	10L	約 100 倍	11 月～3 月 堆肥すき込み時 土壌散布 (土壌強化 根張り強化) (有用微生物とその生成物質供給)
収穫 3カ月前頃	7L	約300倍	4～6月 圃場全体に散布 (樹勢強化 土壌強化) (さまざまな事柄に抵抗力がつきます)
収穫前	1L×3回	約 500 倍	月 1 回程度 圃場全体 葉面散布 (樹勢強化・品質向上) (さまざまな事柄に抵抗力がつきます)

* 使用量、回数、希釈率は一般参考値です

使用上の注意

- ☆ 使用量の表記の無い場合、通常の灌水量にあわせて散布してください
- ☆ アクアバランサーと有機液肥の併用で、より効果を発揮します
- ☆ 化成肥料は追肥、補正に使用することをお勧めします
- ☆ 動噴または灌水チューブで散布してください

使用効果

アクアバランサー使用生産者から以下の効果が報告されています

- ・ 農薬使用量が大幅減少 ・品質が向上した
- ・ 収量の増加 ・根の張りが強くなった。
- ・ 糖度の増加 ・樹勢が高まった

多様な微生物・酵素・ミネラルの力で痩せた土壌は改善されます。有機な土壌もアクアバランサーを

併用する事でさらに品質向上・病気が軽減する効果がでています。

年々、継続使用することでより土壌が強くなり品質も向上し、農薬コスト削減につながります。

●完熟堆肥とアクアバランサーを併用すると、微生物群がさらに活性化してより効果を発揮します●

* アクアバランサーは(財)日本食品分析センターの急性経口毒性試験(LD50)で実験上無害の最高値(20ml/kg)

が証明されています。多く与えても弊害は一切ありませんので安心してご使用ください。